

パワーポイントの作成17ヶ条

2014年11月



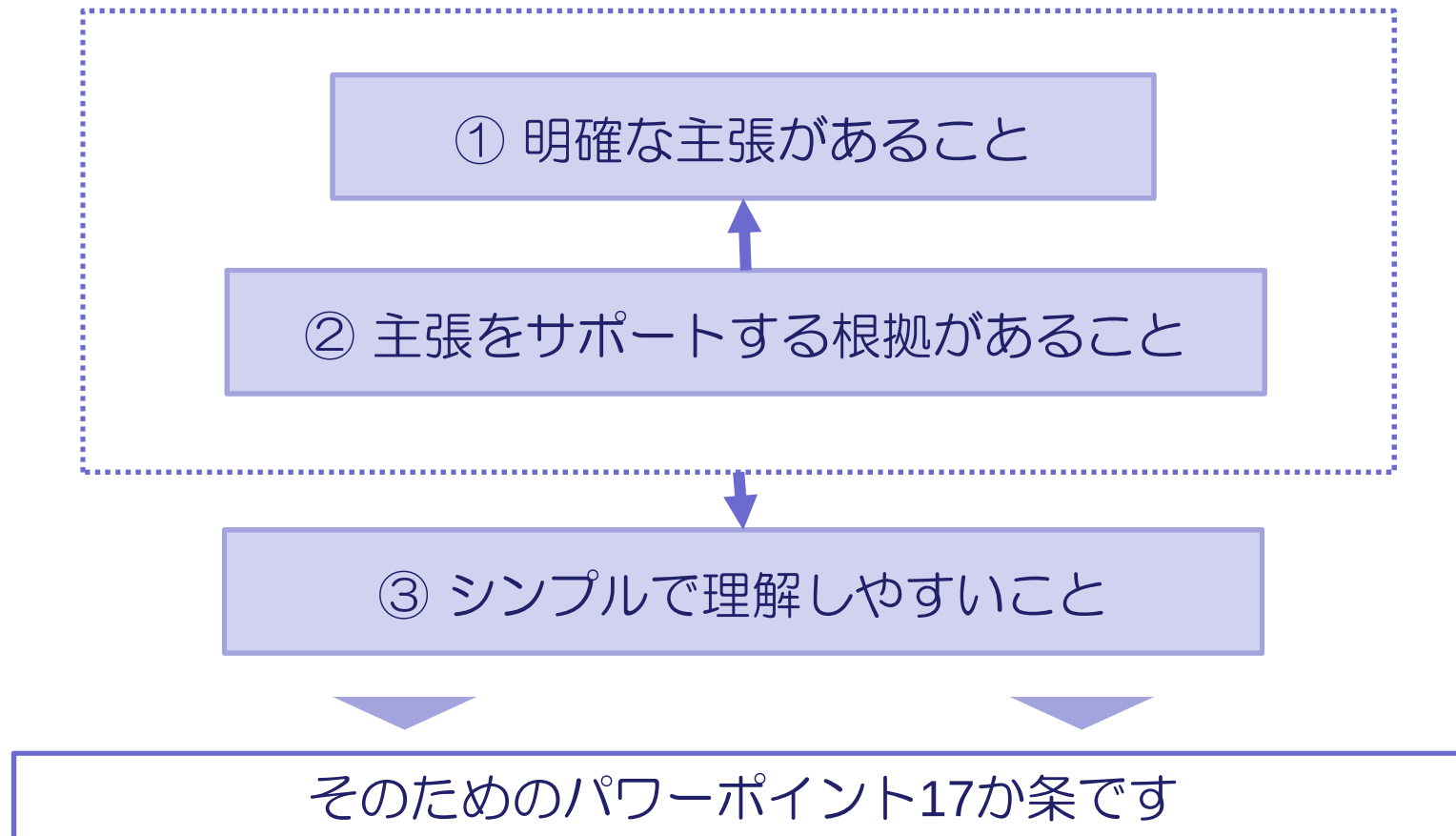
大阪市立大学商学部
宮川研究室

ご注意

本資料は大阪市立大学および大学院における講義に使用するため本学学生向けに作成されたものです。また、担当教員の講義を前提とし、講義を進める上での補足資料として学生の理解を促進する目的で便宜的に構成されています。そのため講義内容や表題のトピックがすべて網羅されているわけではありません。本資料はこれ以外の目的や用途で使わないようご注意ください。

「主張」があって「根拠」が明確で「わかりやすい」こと

パワーポイントによるプレゼンテーションの3条件



(出所:筆者作成)

タイトルと目次に関する定理

1. タイトルに魂を込めましょう

タイトルは聴き手が最初に目にするメッセージです。自分がこのプレゼンで何をしようとしているのか、どのような価値を聴き手に提供できるのか、細心の注意を払って訴求力の高いタイトルを考えなければなりません。ただし誇張はいけません。

2. 目次に工夫できるのがパワーポイントの強みです

パワーポイントで本のような詳細な目次をつけることには意味がありません。読むのではなく聴くのがプレゼンです。したがって、目次はプレゼン全体の論理構成と流れが一目でわかるような道標になっている必要があります。

シートの構成に関する定理-1

3. 原則は1シートに1メッセージです

1枚のシートに多くの情報量を盛り込み過ぎてはいけません。原則は1シートに一つのメッセージです。複数の大きなメッセージがあったとしても何らかの括りによって一つの統一されたメッセージにしておくことで聴き手は頭の整理がしやすくなります。このシートで言いたいことは何なのか1シートずつ自らに問う必要があります。

4. シートの表題にメッセージ性の高いコピーを

各シートの表題に気を使わないプレゼンテーションが多すぎます。このシートで何が言いたいのかを凝縮したアイキャッチングなコピーを考えなければなりません。たとえば「顧客ニーズの変化」という表題ではなく「顧客が求めるものは商品Aから商品Bへと移っている」というように、パワーポイントの表題は往々にして「堅い漢字を使った体言止め」より、「言い切り型」の方が迫力が出ます。

5. ページの論理性を意識しましょう

パワーポイントの表題には番号を打たないことが原則です。したがって、シート間の前後の論理的つながりを意識する必要があります。全体の構成の中で各ページはどのような論理でつながっているのか慎重に検討し、上記4の表題によって流れを作ります。

シートの構成に関する定理-2

6. 勝負の1シートを作しましょう

全体の論理性は重要ですが、現実には聞き手はそこまで熱心に聴かないかもしれません。しかし、聞き手の脳裏に焼き付ける1シートがあるとプレゼンの印象は聞き手に残ります。そのような「勝負の1シート」を作ればプレゼンは成功します。

7. 「死にシート」を排除しましょう

すべてを生きたシートにするのは難しいことです。しかし、「ここは参考程度なので飛ばします」などとしてプレゼン中にページを飛ばす人がいますが、全く意味がない上に効果はマイナスになります。ページが何枚も飛ばされていくと聞き手にはフラストレーションがたまります。説明せずに飛ばすシート（死にシート）はあらかじめ排除しておきましょう。

色と図形に関する定理

8. 原色を使ってはいけません

派手な原色を使ったプレゼン資料は、聴き手を疲労させる上にプレゼンの知性を低下させます。基調になる色は多くても全体で3色以内にとどめ、後は濃淡によって強弱を工夫します。色はなるべく淡色を使うよう心がけましょう。コーポレートカラーをベースにすることもひとつのアイデアです。

9. 丸、三角、四角・・・図形の意味を考えましょう

図形にはそれぞれの意味があります。たとえば、円は肯定的イメージを表すので結論に使うと安心感を与えます。三角は序列を表すので因果関係、論理的フローには境界や構造を表す四角を使います。図形は聞き手の心理に影響を及ぼすため、本来は単に思いつきで作成するものではありません。使用目的も全体に一貫性を保つ必要があります。

10. 写真やアニメーションはTPOを考えましょう

写真や絵を見せることはパワーポイントの強みです。しかし、無意味な写真や既成テンプレートの絵が多いと知性が低下します（ライツの問題も発生します）。また、アニメーションによる印象づけも時として必要ですが、慎重にしなければ単に落ち着きのないプレゼンになってしまいます。過剰な演出を省きましょう。

グラフに関する定理

11. 1 シートに入れるグラフは最小限にとどめましょう

1 シート 1 メッセージの原則ですが、シート内のグラフの種類はなるべく少なくしましょう。シートに多くのグラフを入れ過ぎると効果を打ち消し合うので要注意です

12. 原則として円グラフを避けましょう

円グラフはよほどの効果がない限り、避けるべきです。特に複数の円グラフは聴き手を混乱させ、逆効果になります。少なくとも4つ以上の円グラフは厳禁です。

13. 矢印を加えた誇張表現は避けましょう

バイアスのかかった矢印をグラフに加えて強調するプレゼンはかえって説得力がなくなるので注意が必要です。相手を見ながら検討しましょう。

14. 目盛り線をつけすぎないようにしましょう

棒グラフや折れ線グラフでは、目盛り線をつけますが、あまり細かい目盛り線は避けて、視界の邪魔をしないよう心がけます。また、当然、グラフの出所を明らかにしましょう。

その他表現に関する定理

15. 縦軸と横軸を有効に使いましょう

パワーポイントは長方形でできています。縦軸と横軸を使った論理構成に有効です。表やグラフ、場合分けなど縦軸と横軸を意識しましょう。ただし、表を挿入する場合は縦の線を消去します。聴き手の目線の流れをスムーズにしましょう。

16. 抽象的であいまいな表現、難しくてわかりにくい言葉を避けましょう

シンプルでわかりやすい言葉を使いましょう。自分自身もよくわかっていない言葉や解釈の広い表現は避けるべきです。また、根拠資料が多い方がいいと考えるのは勘違いです。重要性の低いものをそぎ落とし、簡単に簡潔に自分の主張を凝縮させましょう。

17. あくまでパワーポイントは補足資料です

パワーポイントは読む資料ではありません。あくまで「しゃべり」が主役です。聴き手を説得するのは「魂のプレゼン」しかありません。プロジェクターの画面ばかり見ないで、まんべんなくオーディエンスを見渡しながら、また一人一人の目を見ながら、気持ちをこめて笑顔で語りかけることが重要です。愛で語りましょう。

最初から聴く気にならない目次例1

研究報告 ～日本企業の財務特性と今後の展望

第1章 はじめに

- 1-1 日本企業の現状
- 1-2 欧米企業との比較

第2章 財務的余裕の問題点

- 2-1 財務流動性の考え方
 - 2-1-1 意義
 - 2-1-2 効果
- 2-2 財務弾力性の考え方
 - 2-2-1 意義
 - 2-2-2 効果

第3章 先行理論の紹介

- 3-1 エージェンシー理論
- 3-2 ペッキングオーダー理論
- 3-3 所有権理論
- 3-4 アプローチ方法
 - 3-4-1 具体化
 - 3-4-2 抽象化

第4章 仮説の構築

- 4-1 考え方
- 4-2 先行研究
- 4-3 経営者自己抑制仮説

第5章 仮説の検証

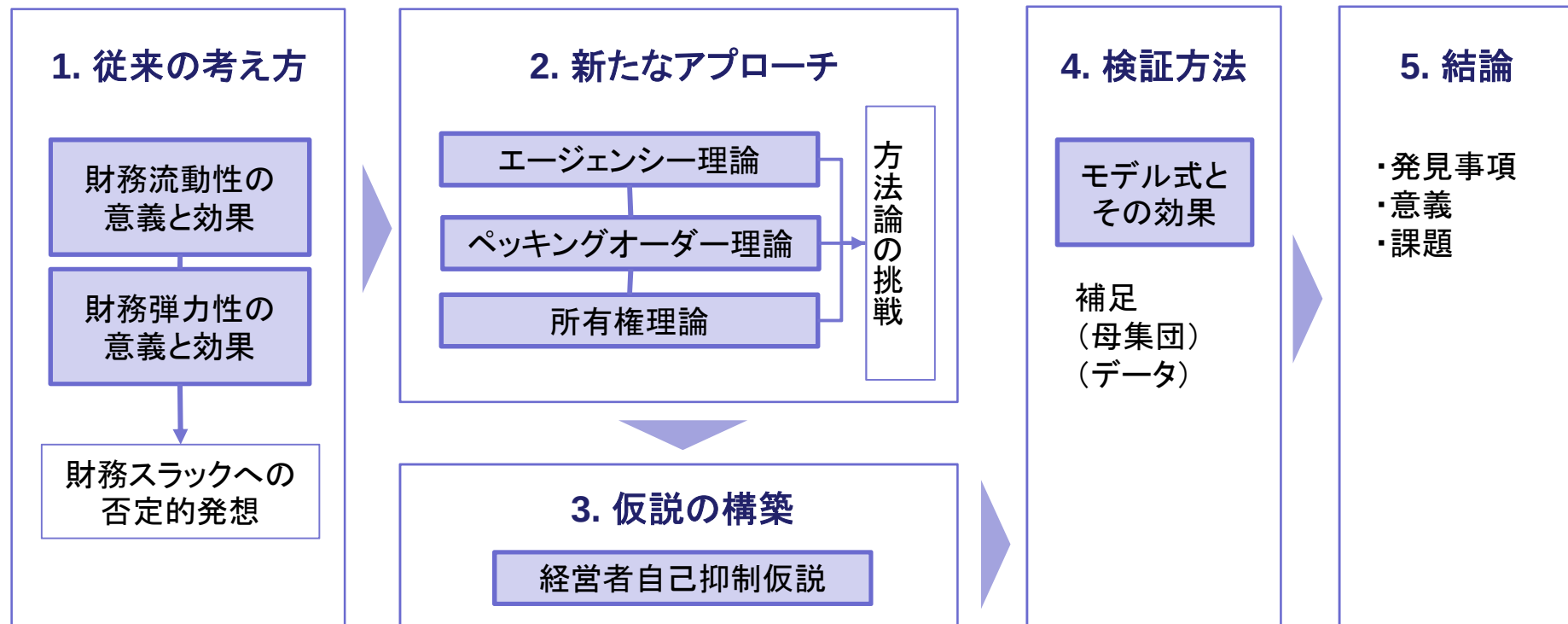
- 5-1 データセット
 - 5-1-1 東証上場企業
 - 5-1-2 製造業の実数
- 5-2 定式化
 - 5-2-1 重回帰分析(1)
 - 5-2-2 重回帰分析(2)
- 5-3 応用

第6章 まとめと結論

(出所:筆者作成)

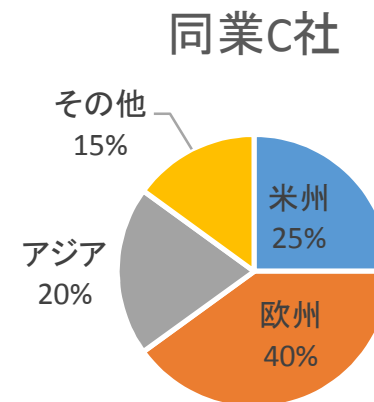
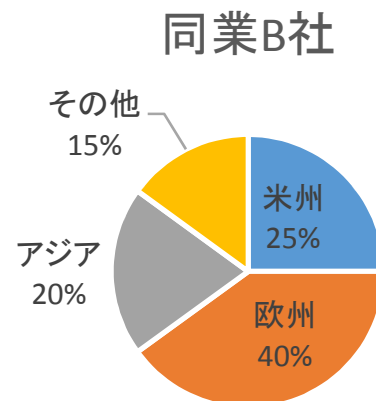
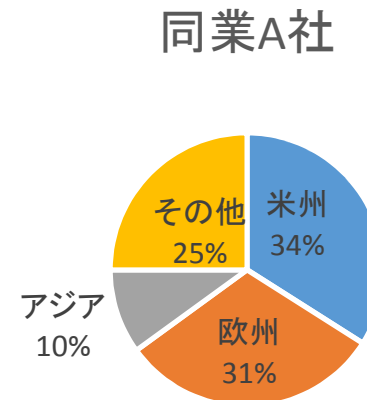
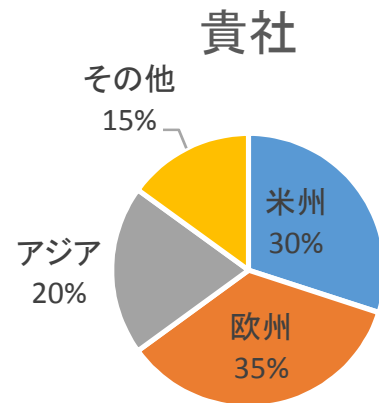
目次例2: 前ページの目次を書き直してみました

研究報告 ～日本企業の現金保有に合理性はあるか？



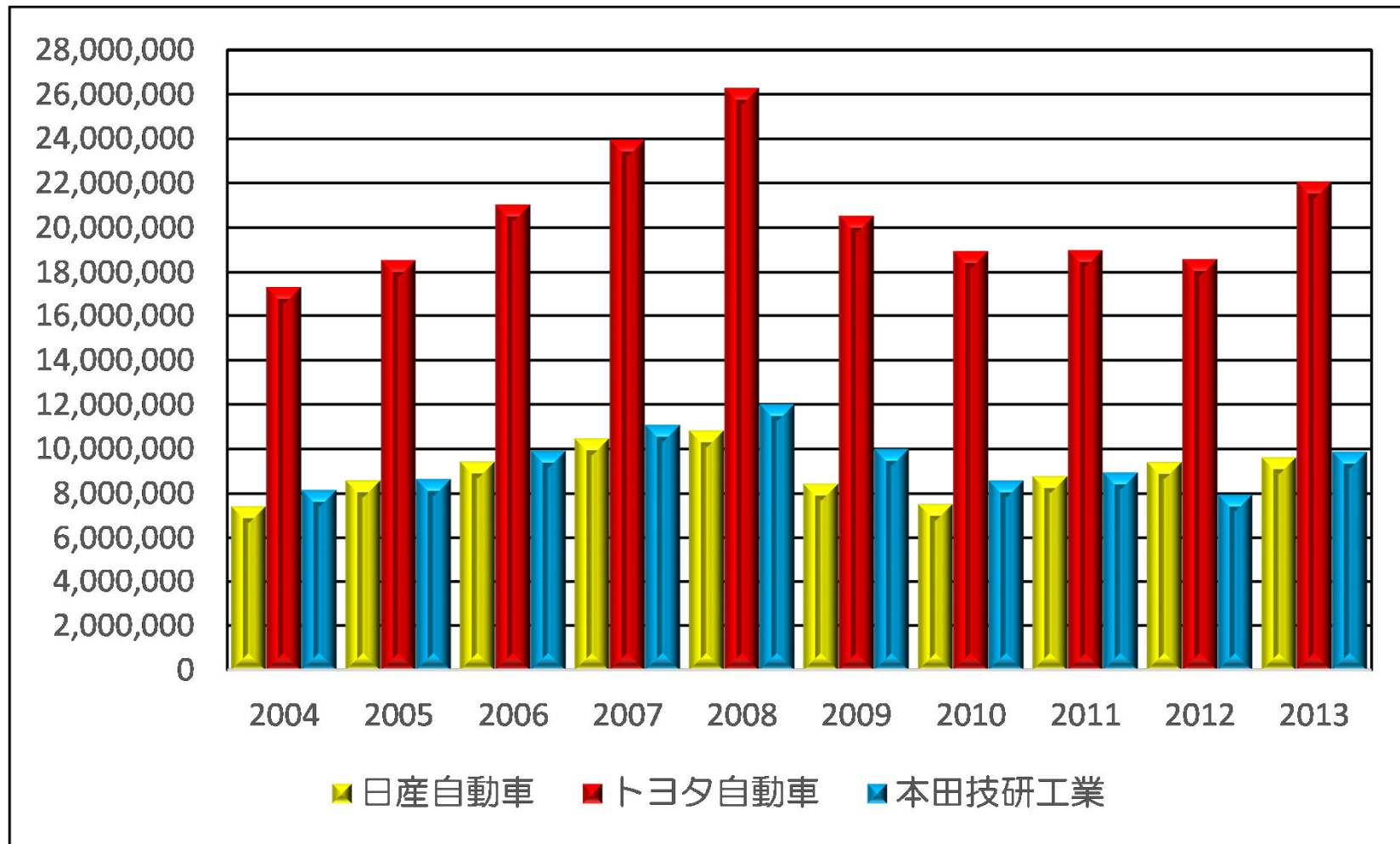
(出所:筆者作成)

円グラフを複数並べると何がなんだかかわらなくなる例



(出所:筆者作成)

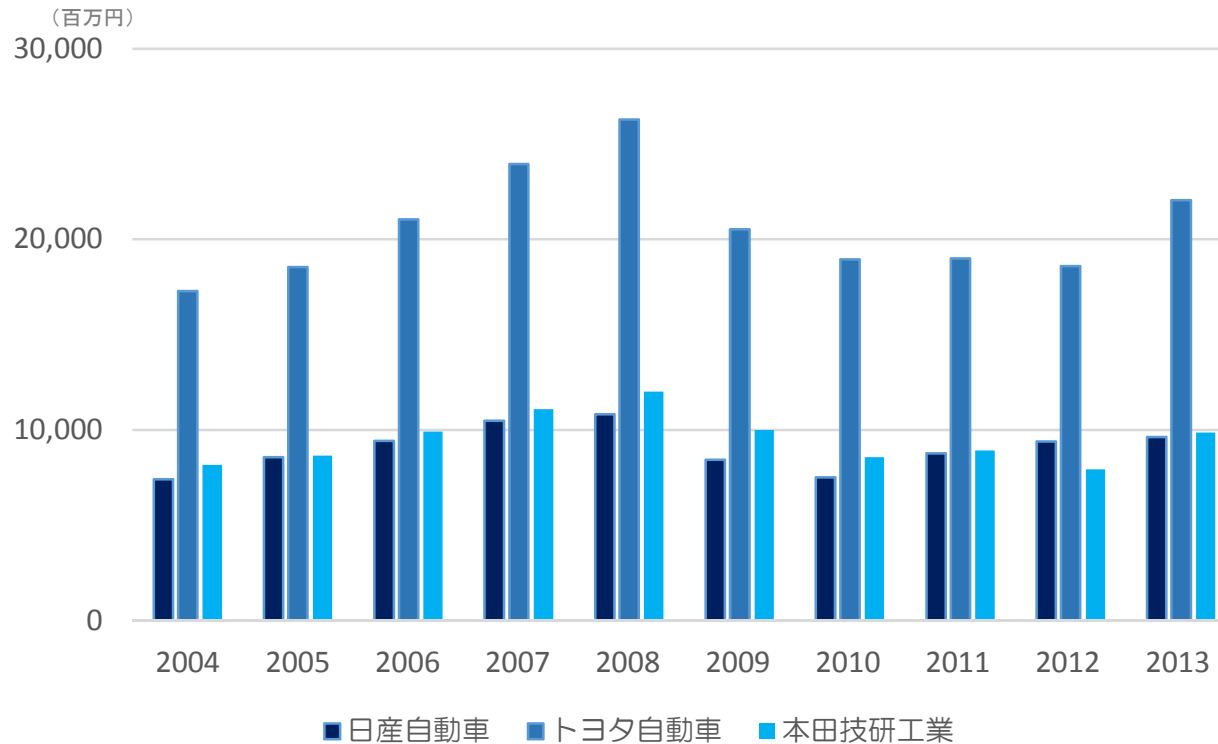
完成車メーカー三社の売上高推移 (見ていると疲れるグラフの例)



(出所:筆者作成)

2013年度より復調を見せる完成車メーカー (前ページのグラフを書き直してみました)

完成車メーカーの売上高推移(直近10年間)



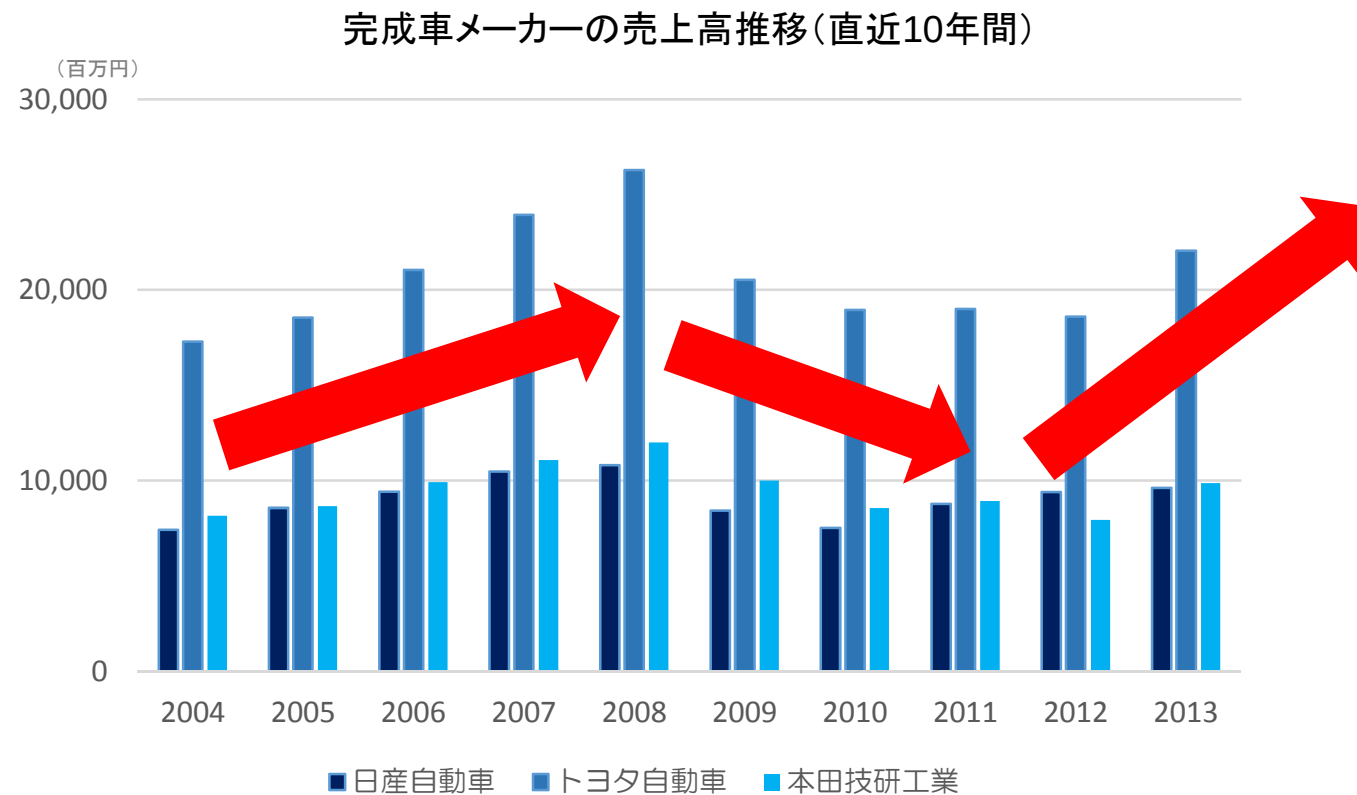
(出所) 日経NEEDS-FQより筆者が加工

- ✓ 原則として枠線は描きません
- ✓ 同系色の色を使います。

- ✓ 目盛線は最低限にとどめます。
- ✓ グラフの訴求点をタイトルにします。

(出所:筆者作成)

矢印をつけたばかりに台無しになるグラフの例



(出所) 日経NEEDS-FQより筆者が加工

(出所:筆者作成)

見る気が失せる表の例

		2008/12	2009/12	2010/12	2011/12	2012/12
ROE	%	0.54%	0.07%	5.79%	5.85%	9.15%
売上高当期純利益率	%	0.32%	0.04%	3.46%	3.40%	5.65%
自己資本回転率	回	1.68	1.64	1.67	1.72	1.62
レバレッジ	回	1.60	1.76	1.61	1.53	1.52
ROA	%	5.14%	3.68%	6.82%	7.97%	10.89%
売上高事業利益率	%	4.87%	3.96%	6.57%	7.10%	10.24%
売上原価／売上高	%	68.53%	68.04%	67.66%	69.16%	66.36%
販管費／売上高	%	27.40%	29.05%	26.52%	24.51%	24.23%
事業利益／支払利息	—	6.1	3.8	8.7	9.2	12.3
総資本回転率	回	0.95	1.07	0.96	0.89	0.94
現金／売上高	%	9.67%	10.51%	12.02%	10.44%	11.73%
運転資本／売上高	%	13.29%	17.21%	15.93%	15.31%	18.29%
棚卸資産／売上高	%	17.64%	19.50%	15.08%	15.67%	17.13%
有形固定資産／売上高	%	34.46%	41.01%	36.40%	32.87%	34.55%

(出所:筆者作成)

フォント8に落として、英数字を「Arial」に変えます。

	2008/12	2009/12	2010/12	2011/12	2012/12
ROE (%)	0.54%	0.07%	5.79%	5.85%	9.15%
売上高当期純利益率	0.32%	0.04%	3.46%	3.40%	5.65%
自己資本回転率	1.68	1.64	1.67	1.72	1.62
レバレッジ	1.60	1.76	1.61	1.53	1.52
ROA (%)	5.14%	3.68%	6.82%	7.97%	10.89%
売上高事業利益率 (%)	4.87%	3.96%	6.57%	7.10%	10.24%
売上原価／売上高	68.53%	68.04%	67.66%	69.16%	66.36%
販管費／売上高	27.40%	29.05%	26.52%	24.51%	24.23%
事業利益／支払利息	6.1	3.8	8.7	9.2	12.3
総資本回転率 (回)	0.95	1.07	0.96	0.89	0.94
現金／売上高	9.67%	10.51%	12.02%	10.44%	11.73%
運転資本／売上高	13.29%	17.21%	15.93%	15.31%	18.29%
棚卸資産／売上高	17.64%	19.50%	15.08%	15.67%	17.13%
有形固定資産／売上高	34.46%	41.01%	36.40%	32.87%	34.55%

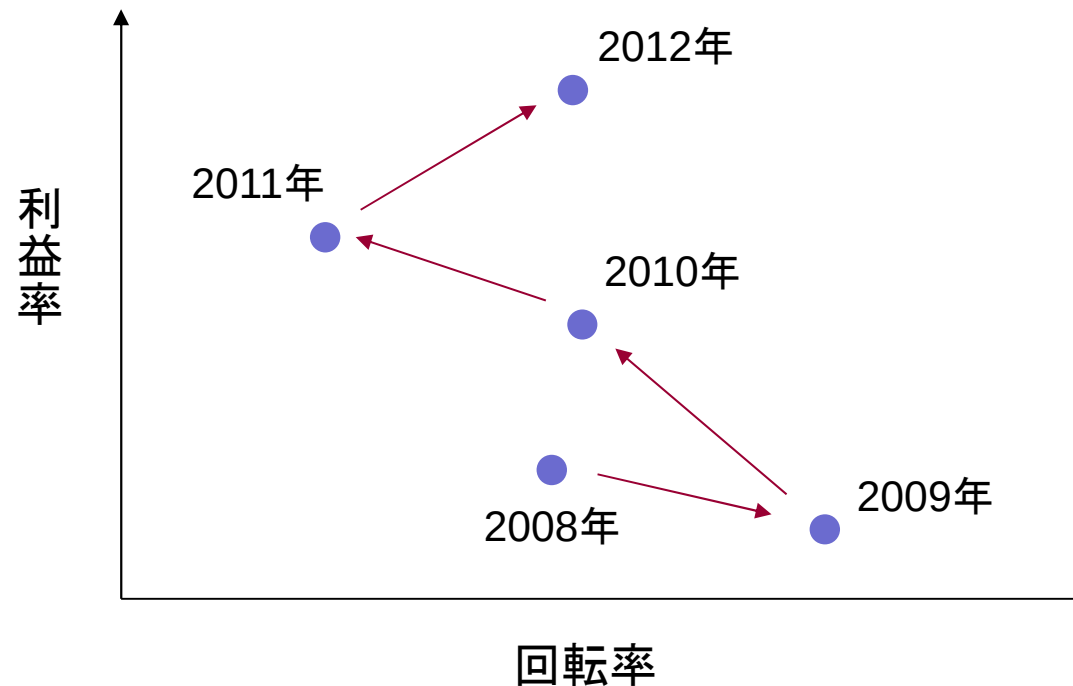
- ✓ 縦の線は原則として使いません。
- ✓ 罫線もすべて削除し、必要な横線のみを極細線で描きます。
- ✓ 期間は太字でフォントを落とし、重要な数値を斜体字にしましょう。

(出所:筆者作成)

縦軸と横軸で考える例：利益率と回転率の推移

前ページの表の数値を取り上げて下図のように書き直します

2009年から2011年までは回転率を犠牲にして利益率の改善を果たしましたが、2012年は利益率、回転率ともに改善をもたらす結果となった、という会社の方向性がわかりやすくなりました。



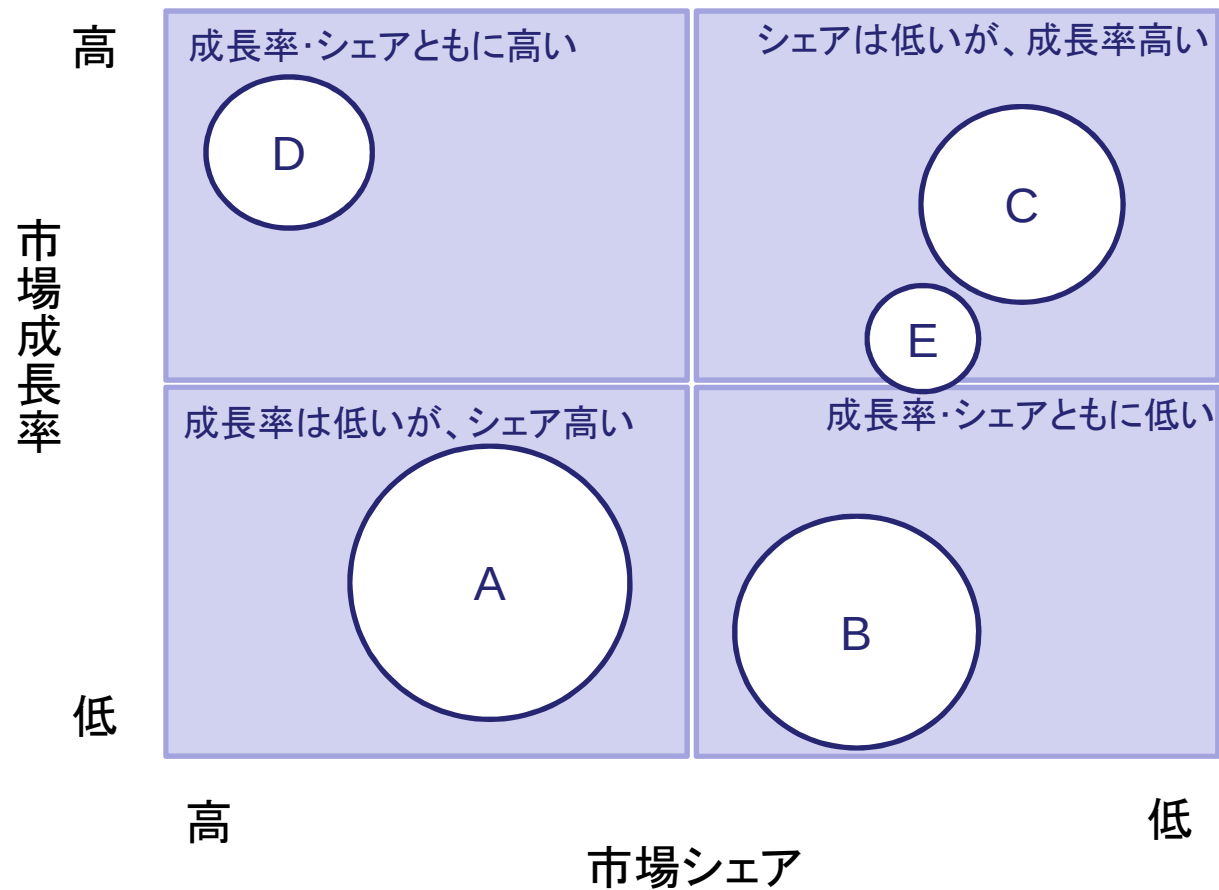
(出所:筆者作成)

縦軸と横軸で考える例：事業ごとの分析結果

事業	売上高	市場シェア	市場成長率	事業特性と今後の方向性
A事業	50億円	20%	7%	安定した成長率で収益を牽引するが、今後の柱とはなりにくい。
B事業	30億円	10%	3%	今後は合理化が必要。事業の撤退も視野に入れる。
C事業	20億円	5%	13%	今後の成長の鍵を握っているが、引き続き大きな設備投資も必要。
D事業	10億円	40%	15%	今後の成長の鍵を握っているが、引き続き大きな設備投資も必要。
E事業	3億円	8%	10%	今後の成長の鍵を握っているが、引き続き大きな設備投資も必要。

(出所：筆者作成)

縦軸と横軸で考える例：事業ごとの分析結果（PPM）



（出所：筆者作成）